
センター ニュース

No.19

2007.3.23

1. 巻頭言 センター長 伊藤 成治
2. センターの活動
 - 2.1 センターの研究
 - 2.2 センター研究員
 - 2.3 附属学校教員 10 年経験者研修
 - 2.4 フレンドシップ事業
 - 2.5 放課後チューター事業
 - 2.6 国語・算数数学指導力養成・向上講座
 - 2.7 平成 18 年度 弘前大学教育学部 公開講座
 - 2.8 平成 18 年度 弘前大学大学院教育学研究科 公開講座
 - 2.9 カウンセリングとコンサルテーション
 - 2.10 学校適応指導教室派遣学生に対するコンサルテーション・スーパービジョン
 - 2.11 センター主催・共催による講演会と研究会の開催
 - 2.12 センター教員による講演 (公開講座等)
 - 2.13 センター教員の教育活動
 - 2.14 センター教員の委員会活動
 - 2.15 センター教員の学外における活動
 - 2.16 その他
3. センターの設備・資料等の整備と利用状況
 - 3.1 設備・資料の収集・整備
 - 3.2 センターの利用状況
4. 国内の動向: 国立大学教育実践研究関連センター協議会

弘前大学教育学部 附属教育実践総合センター
The Center for Educational Research and Practices
Faculty of Education, Hirosaki University

1 巻頭言

伊藤 成治

教育実践総合センターの事業は、教員養成をサポートしていくものと、教育現場をサポートしていくものと大きく2つに分かれる。いずれをとっても、地域の教育機関との連携を深めながら、教員養成学研究開発センターとも協働して取り組むことが重要だろう。

特に地域の教育機関との連携については、ここ2、3年で飛躍的に進んだようだ。法人化やG Pなどの影響もあるだろうが、お互いに機が熟してきていたに違いない。

この関係を大切にしながら、センター業務をいっそう活性化し、充実したものにして、教育学部の附属教育研究施設としての役割を果たすためにスタッフ一同知恵を絞りたいと思う。

2 センターの活動

2.1 センターの研究

センターでは下記の研究を行った。また、研究成果を関連する学会等に発表し公表した。

- (1) 授業改善に関わる研究
- (2) 教員の研修に関する研究
- (3) フレンドシップ事業における学生の発達に関する研究
- (4) Web教材の開発および開発方法に関する研究
- (5) 英語教育に関する研究
- (6) 情報教育教材の開発および開発方法に関する研究
- (7) 児童生徒の学校生活の「動機づけ-衛生要因」の研究
- (8) 児童生徒の学校不適應の研究
- (9) スクールカウンセリング体制の研究
- (10) 児童生徒の卒後適應の追跡と追指導の研究

(著書・論文)

- (1)田名場忍: 「3章 対人認知」(潮村公弘・福島治編著「社会心理学概説」), 北大路書房 (2007).
- (2)Noro, Tokuji: A Theoretical Consideration of the Cognitive Appraisal Process of “Listening Stress”. Bulletin of the Faculty of Education, Hirosaki University. 97(2007).
- (3)Noro, Tokuji: The Cognitive Appraisal Process of ‘Listening Stress’: Representation with a Schematic Model. Tohoku Eigo Kyoiku Gakkai Kenkyu Kiyu. 27(2007).
- (4)有馬智春・豊嶋秋彦: 「斜めの関係」再定義と関係構築過程の微視的研究 — 適応指導教室通室生とサポーター間の「斜めの関係」 —, 弘前大学大学院教育学研究科心理臨床相談室紀要, 3(2006).
- (5)大曾根崇幸・豊嶋秋彦・小寺潔: 心理臨床におけるナラティブとライフスペース — 生活空間構造概念の有効性の検討 —, 弘前大学大学院教育学研究科心理臨床相談室紀要, 3(2006).
- (6)菊池春香・豊嶋秋彦: 非言語的交流を用いたエンカウンターがもたらすもの対人専門職志望学生におけるCS・SSとの関連から, 弘前大学大学院教育学研究科心理臨床相談室紀要, 3(2006).
- (7)渡邊潔: 適応指導が通室生の発達課題の達成感に与えた影響について, 弘前大学教育学部附属教育実践総合センター研究員紀要, No.5(2007).

(学会発表)

- (1)野呂徳治: 「リスニング・ストレス」の認知的評価に関わる要因, 第32回全国英語教育学会高知研究大会 (2006).
- (2)野呂徳治: 「リスニング・ストレス」の認知的評価プロセス, 第45回JACET(大学英語教育学会)全国大会 (2006).
- (3)野呂徳治: 「リスニング・ストレス」の認知的評価に関わる要因とそのプロセスの検討, 第22回日本ストレス学会学術総会 (2006).
- (4)伊藤忠之・田名場忍・田名場美雪: 教師の児童認知に関する研究(10) — 小学校教師の児童認知検査の個別尺度因子に関する全体的傾向 —, 第10回北海道心理学会東北心理学会合同大会 (2006).
- (5)三浦亜矢子・田名場忍: 適応指導教室体験が通室生徒にもたらすもの — PAC分析を通して —, 第10回北海道心理学会東北心理学会合同大会 (2006).
- (6)小寺潔・田名場忍: 大学生における生きがい感とスピリチュアリティとの関連, 第10回北海道心理学会東北心理学会合同大会 (2006).
- (7)小寺潔・田名場忍: 大学生におけるスピリチュアリティの因子構造と生きがい感, 第22回日本ストレス学会学術総会 (2006).
- (8)田名場美雪・田名場忍・細江達郎・中谷敬明・伊藤忠之・田村俊博: 暗黙の人格観検査(IU & IPU式)の応用可能性について, 日本応用心理学会第73回大会 (2006).
- (9)泉綾・豊嶋秋彦: アイデンティティ・自己肯定感と教職不安に関する一研究, 第10回北海道心理学会東北心理学会合同大会 (2006).
- (10)豊嶋秋彦・花屋道子: 教職への職業的社会化 — 教員養成課程学生の1年次から2年次の変化, 第10回北海道心理学会東北心理学会合同大会 (2006).
- (11)菊池春香・豊嶋秋彦: エンカウンター・エクササイズと「自己の二面性」 — 集団コラージュを中心に —, 第10回北海道心理学会東北心理学会合同大会 (2006).
- (12)大曾根崇幸・豊嶋秋彦: 臨床的研究としてのライフスペース・アプローチ, 第10回北海道心理学会東北心理学会合同大会 (2006).

(報告書)

- (1)平成18年度フレンドシップ事業報告書, 弘前大学教育学部 (2007).
- (2)平成18年度研究員紀要第5号(通巻15号), 弘前大学教育学部附属教育実践総合センター (2007).
- (3)野呂徳治: 平成17~18年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書「『リスニング・ストレス』の構成概念妥当性の検証とその生起のメカニズムの解明」(2007)
- (4)田名場忍: 授業研究タイプによる質問紙調査の質問項目作成について, 弘前大学教育学部附属教育実践総合センター研究員紀要, No.5, 2007.

2.2 センター研究員

青森県教育委員会および弘前市教育委員会の後援を得て、弘前市近辺の学校を中心として広く研究員を公募した。学部教員，附属教員，一般の学校の教員等の中から9名の研究員を採用し，研究員の研究活動を援助した。6月17日，8月26日，10月21日，11月25日，1月27日に研究員集会を開催し，2007年2月17日(土)に研究報告会を開催した。研究報告会の参加者は20名。また，「研究員紀要 第5号(通巻15号)」を作成し，配布した。

研究テーマは次のとおりである。なお，これまでの研究テーマの一覧や概要を下記のホームページに掲載している。キーワードによる検索もできますのでご覧ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/center/kenkyuin/>

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 「思考力」を高める説明的文章指導の一考察
—「PISA 型読解力」育成の視点から「筆者想定法」を再評価する— | 田中拓郎 (十和田市立不動小学校) |
| 2. 小学校における地域文集の研究
—弘前市国語教育研究会編「ひろさき」の児童詩を中心に— | 小山内早苗 (弘前市立北小学校) |
| 3. 意欲を高める学習形態の開発
—ジグソー学習と社会科学習— | 天内純一 (平川市立小和森小学校) |
| 4. 英語科における小・中連携を図るための課題と方策
—青森市浪岡地区における英語学習調査から— | 阿部笑子 (青森市立浪岡中学校) |
| 5. 中学生の語彙指導に関する実証的研究
—コーパスを活用して— | 佐藤剛 (大鰐町立大鰐中学校) |
| 6. タスク活動を通して teacher talk の改善を図る事例研究 | 丹藤永也 (弘前市立第二中学校) |
| 7. 校内研修の取り組みが児童・教師に及ぼす影響について | 工藤泰子 (弘前市立千年小学校) |
| 8. 教員の自己評価についての研究 | 渋川良夫 (平川市立葛川小学校) |
| 9. 乳幼児保育施設の保育実践に関する研究 II
—東北地方の実践を通して— | 原子純 (白梅学園大学) |

2.3 附属学校教員10年経験者研修

教育学部附属学校所属の10年経験者研修受講者9名に対し，課題研修として各自が取り組んでいる教育実践研究の指導をセンター研究員会において行った。研究成果はセンター研究員研究報告会と同時開催した附属学校園10年経験者研修課題研修研究発表会で発表し，「研究員紀要 No. 15」に掲載した。

研究テーマは次のとおりである。研究の詳細は研究員のページに掲載していますのでご覧ください。

- | | |
|---|--------------|
| 1. 文学作品を活用した自己表現力を高める授業づくり
—「語り」の活動を通して— | 地主尚子 (附属小学校) |
| 2. Web における開かれた小学校社会科地域読本の一試案
—概念探究学習をベースにした地域読本を例に— | 秋田真 (附属小学校) |

- | | |
|--|--------------|
| 3. 「知的な気付き」を大切に生活科の指導の在り方
—マップ図の活用を通して— | 千葉修 (附属小学校) |
| 4. 集団や社会とよりよく関わろうとする子どもの育成
—VLF:Voices of Love and Freedom(思いやり育成プログラム)を活用した単元的道徳学習の工夫— | 建部拓 (附属小学校) |
| 5. 思考力・判断力を育成する「補充的・発展的学習」の一考察
—概念探究学習過程と価値分析学習過程を踏まえた中学校社会科の単元構成— | 佐藤耕人 (附属中学校) |
| 6. 社会科3学年公民的分野 国際問題に関する生徒の意識について
—生徒の小論文を通して— | 竹内誠司 (附属中学校) |
| 7. 読み取る力を高める指導法の研究
—新曲視唱の活動を通して— | 工藤素子 (附属中学校) |
| 8. 学びを生活に生かす生徒の育成
—技術・家庭科の授業実践を通して— | 柴田郁子 (附属中学校) |
| 9. 自閉性障害児 A の認知特性をふまえた学習指導方法に関する研究 | 外崎毅 (附属養護学校) |

2.4 フレンドシップ事業

フレンドシップ事業は、教員を目指す学生に種々の体験活動を通して、子どもたちとふれあい、子どもの気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を身につけさせることを目標とする事業である。今年度も、当センター及びフレンドシップ委員会が主管となり、同事業を実施した。事業の内容としては、地域の教育委員会と連携して、学校や学校外施設等を活用し、施設関係者、学校教員、保護者の参加や意見を求め、学生自身が創造的に工夫し活動することが、その主なものである。

本年度は下記のフレンドシップ事業を展開した。

- 事業1. ふれあい自然体験活動
- 事業2. ふれあい野外活動
- 事業3. ふれあい支援活動(不登校)

活動の詳細はホームページをご覧ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/usr/norotoku/fs18/>

4月24日	ふれあい支援活動(不登校) 事前指導 (於 教育学部, 参加者:学生 18名)
4月27日	ふれあい支援活動(不登校) ガイダンス (於 弘前市学校適応指導教室, 参加者:学生 16名)
5月22日	ふれあい支援活動(不登校) 追加事前指導 (於 教育学部, 参加者:学生 2名)
5月20日~21日	ふれあい自然体験活動事前指導: 集団宿泊研修 (於 梵珠少年自然の家, 参加者: 学生 24名 教員 2名)
5月31日~6月1日	ふれあい野外活動「黒石市立中郷小学校野外教室」(於 梵珠少年自然の家, 参加者: 学生 4名)
6月8日~9日	ふれあい野外活動「弘前市立第三大成小学校自然体験教室」(於 梵珠少年自然の家, 参加者: 学生 2名)
6月16日	ふれあい野外活動「田舎館村立西小学校校外学習」(於 アピタジャージーファーム, 参加者: 学生 6名)
6月24日~25日	ふれあい自然体験活動「たねさし自然体験指導者セミナー」(於 種差少年自然の家, 参加者: 学生 12名)
6月24日~25日	ふれあい自然体験活動「自然の家ボランティア研修」(於 下北少年自然の家, 参加者: 学生 9名)
6月27日	ふれあい支援活動(不登校) 社会見学 (於 ロマントピア相馬, 参加者:学生 13名)
7月10日	ふれあい支援活動(不登校) 事例研究会 (於 弘前市学校適応指導教室, 参加者:学生 16名)
8月1日~6日	ふれあい自然体験活動「冒険半島: 紺碧のしもきた」(於 青森県立下北少年自然の家, 参加者: 学生 8名)
8月6日~8日	ふれあい自然体験活動「夏休み自然教室」(於 公立小川原湖青年の家, 参加者: 学生 7名)
8月8日~11日	ふれあい自然体験活動「チャレンジキャンプ夏」(於 青森県立種差少年自然の家, 参加者: 学生 9名)

8月11日～12日	ふれあい自然体験活動「附属小PTA 父親委員会主催学校に泊まろう」(於 附属小学校, 参加者: 学生 1 名)
9月18日～23日	ふれあい野外活動「鶴田にぎりまんま塾」(於 鶴田町公民館, 参加者: 学生 2 名)
10月7日	フレンドシップ事業「ふれあい自然体験活動シンポジウム」(参加者: 学生 23 名 社会教育主事 3 名)
10月19日	ふれあい支援活動(不登校) 体験学習(於 黒石こけし館, 参加者: 学生 14 名)
11月13日	ふれあい支援活動(不登校) 中間指導(於 教育学部, 参加者: 学生 4 名)
11月15日	ふれあい支援活動(不登校) 中間指導(於 教育学部, 参加者: 学生 10 名)
12月21日	ふれあい支援活動(不登校) 事例研究会(於 弘前市学校適応指導教室, 参加者: 学生 11 名)
2月17日～18日	ふれあい野外活動「みんなで遊ぼう・ウィンターフェスティバル」(於 弘前りんご公園, 参加者: 学生 3 名)
2月22日	ふれあい支援活動(不登校) 事例研究会(於 弘前市学校適応指導教室, 参加者: 学生 12 名)
4月～1月	教務職員を指導補助として週 1 回弘前市学校適応指導教室に派遣

2.5 放課後チューター事業

弘前市内の小学校 13 校中学校 4 校, 黒石市内の小学校 1 校に合計 32 名を派遣した。

12月15日, 放課後チューター事業シンポジウムを開催した。参加者は, 学生 31 名, 弘前市教委指導主事 1 名, 学校教員 2 名であった。

2.6 国語・算数数学指導力養成・向上講座(弘前市教育委員会と共催)

2006年11月5日 国語講座 A, 算数数学講座 A, 11月12日 算数数学講座 B, 12月3日 国語講座 B がそれぞれ開催された。この講座は来年度(平成 18 年度)より青森県教育委員会の 10 年経験者研修の代替(中南教育事務所管内の教員に限る)として認められた。

2.7 平成 18 年度 弘前大学教育学部 公開講座

2006年9月2日「自分づくりのための道標」のテーマで, 領域が異なる 2 名の学部教員が講演を行った(鶴田町教育委員会との共催)。

2006年11月21日, 28日「自分づくりのための道標」のテーマで, 領域が異なる 8 名の学部教員が講演を行った(つがる市教育委員会との共催)。

2.8 平成 18 年度 弘前大学大学院教育学研究科 公開講座

2006年8月4日, 7日, 8日, 10日に八戸サテライトで開催した。

2.9 カウンセリングとコンサルテーション

研究科心理臨床相談室において, 当センターの教育臨床研究部門の教員は, 平成 18 年 4 月から 3 月までの間に, 児童生徒(適応指導教室通級生及び卒業生を含む), 保護者, 教師, 指導主事, 適応指導教室指導スタッフ, 心の教室相談員, スクールカウンセラー, および, 児童生徒を支援中の相談機関・病院の支援専門職など 42 名超に対して 200 回を超えるカウンセリング, コンサルテーションを実施した。

2.10 学校適応指導教室派遣学生に対するコンサルテーション・スーパービジョン

フレンドシップ事業ふれあい支援活動において学校適応指導教室に派遣を行っている学生 20 名に対して, 当センターの教育臨床研究部門の教員は, 4 月から 3 月までの間に個人的な

コンサルテーションおよびスーパービジョンを102件実施した。うち56件は、客員教授渡邊潔が、複数の学生を対象とした合同事例研究会として実施した。

2.11 センター主催・共催による講演会と研究会の開催

(1) 公開シンポジウム「英語教育シンポジウム」(青森県英語教育学会 後援)

(2007年2月22日参加者6名)

シンポジウムテーマ「英語科の指導技術にみる認知心理学」

指定討論者 黒石高等学校教諭 伴 一聡 氏

(2) 講演会「現場にいて研究を続けるということ —個人的な経験から—」

(2006年10月21日参加者15名)

講師 弘前大学教育学部 児玉 忠 氏

(3) 第98～99回 教育・福祉とエレクトロニクス懇話会

2006年5月16日、2007年3月19日の2回開催し、参加者は延べ17名であった。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/usr/koyama/ewe.pdf>

2.12 センター教員による講演(公開講座等)

2006年10月12日	青森県立弘前中央高等学校「職場体験」 「心理臨床相談室」及び学部授業「発達と臨床課題実験」に、8名の高校生を受け入れ対応した。	豊嶋秋彦
2006年10月20日	青森県立弘前中央高等学校「弘前大学1日体験入学」 「学校不適応の心理学」に20名、「カウンセリング基礎論」に42名の高校生を受け入れた。	豊嶋秋彦
2006年11月9日	弘前大学生涯教育連続講演会(大間会場: 下北郡大間町教育委員会との共催) 講演「子どもの教育環境を整える—家庭と地域の教育力を高める視点から—」	豊嶋秋彦

2.13 センター教員の教育活動

(教育実践研究部門)

21世紀教育 基礎ゼミナール(16名)、情報I(74名)、英語IIA(32名)、英語IIB(31名)、教育学の基礎(分担)(203名)

学部 教育実習の事前事後指導(分担)、教育工学演習(24名)、応用言語学(1名)、英語音声学(34名)、特別活動実習A(24名)、特別活動実習B(23名)、特別活動実習C(9名)、特別活動講義(60名)、人間生活と科学技術(分担)(75名)、生活情報技術(15名)、情報技術基礎(7名)、情報技術実習I(13名)、総合演習(17名)

大学院 英語科教育特論II(1名)、英語科教育特別演習III(1名)、英語科教育特別演習II(1名)、英語科授業実践研究(分担)(1名)

全学・他部局 地域産業研究(1名)

(教育臨床研究部門)

21世紀教育 学部	心理学の基礎(分担)(330名),メンタルヘルスD(分担)(320名) 教職入門(分担)(250名),生徒指導心理学(270名),カウンセリング基礎論(分担)(250名),進路指導 心理学(40名),特別活動実習(不登校生支援)(共担)(20名),総合演習(分担)(10名),リーダーシップ 心理学(117名),学校不適應の心理学(70名),心理学実験(分担)(9名),臨床心理検査実習(分担)(25 名),発達と臨床課題実験(共担)(18名),小学校教育専攻卒業研究(5名),児童臨床心理演習(分担)(25 名),カウンセリング実習(共担)(50名)
大学院	臨床心理査定演習II(3名),臨床心理実習(共担)(4名),教育実践研究(分担)(35名),生徒指導特論 (分担)(15名),生徒指導演習(分担)(5名),臨床心理学特論I(3名),エンカウンター特論(共担)(3名), 心理学研究法特論(8名),臨床心理査定演習(3名),臨床心理基礎実習(共担)(4名),臨床心理実習 (共担)(4名),心理統計法特論(13名),臨床心理関連行政論(共担)(4名),課題研究(4名)
全学・他部局	教職入門(分担)(180名),カウンセリング基礎論(分担)(95名)

2.14 センター教員の委員会活動

学部	基本構想会議,教員養成GPワーキンググループ委員,学務委員会,実習委員会,教育実践協同研究推進 委員会,フレンドシップ委員会,ファカルティデベロップメント委員会,自己評価委員会,予算委員会,研 究推進委員会,心理臨床相談室(室長および相談員),教員養成学研開発センター兼任教員
全学・他部局	総合情報処理センター運営委員会,学生総合相談室相談員,保健管理センター併任カウンセラー(年間約 40件),年報編集委員

2.15 センター教員の学外における活動

(教育実践研究部門)

2006年度	青森県教育委員会「英語教員指導力向上5カ年研修」講師	(野呂)
2006年度	青森県教育委員会 栄養教諭育成講習「教育方法論」講師	(小山)
2006年度	青森県教育委員会 社会教育委員	(野呂)
2006年度	青森県教育委員会「学校と地域の協働による教育活動推進協議会」委員	(野呂)
2006年度	青森県教育委員会「学校と地域の協働による教育活動推進協議会」調査検討委員会委員長	(野呂)
2006年度	青森県教育委員会「あおもり教育情報発信・活用促進協議会兼調査研究委員会」委員	(小山)
2006年7月7日	青森県総合学校教育センター中学校英語指導法研修講座 講義「授業の改善を図るための授業分析・授業研究・アクションリサーチ」 助言「指導の実際と改善」	(野呂)
2006年7月31日 ~8月2日	青森県立青森西高等学校夏季進学講習会 講義・演習「アタック英文読解!!(2年生対象)」	(野呂)
2006年8月17日 ~18日	青森県高等学校教育研究会外国語部会研究大会(於青森県立木造高等学校) 公開授業講評・分科会助言・分科会報告会講評 「実践的コミュニケーション能力を育成する指導と評価」	(野呂)
2006年8月21日	弘前市教育委員会中学校英語研修講座 講義「コミュニケーションな英語の授業の進め方~授業中のコミュニケーションを促す工夫~」	(野呂)
2006年9月9日	つがるALSウィーク 講演「障害者への技術支援」	(小山)
2006年10月18日	弘前市立第二中学校校内研修会 指導・助言「自ら学び,基礎・基本を定着させるにはどうあればよいか」	(野呂)
2006年11月17日	青森県総合社会教育センター「学校支援に向けたおとなの教育力育成セミナー(第5回)」 講義「学校支援ボランティアに期待する」	(野呂)
2007年3月10日	障がい児者パソコン支援団体啓発意見交換会(於仙台市) 講演「障害者のコミュニケーション支援について」	(小山)
2007年3月28~30日	青森県立青森西高等学校春期進学講習会 講義・演習「英語パラグラフ・リーディングの基礎(2年生対象)」	(野呂)

(教育臨床研究部門)

2006 年度	文部科学省スクールカウンセラー配置事業スクールカウンセラー	(豊嶋・田名場)
2006 年度	青森県教育委員会 栄養教諭育成講習「教育心理」講師	(田名場)
2006 年度	国土交通省外部カウンセラー	(豊嶋・田名場)
2006 年度	青森県警察本部民間被害者支援団体設立準備委員会委員	(豊嶋)
2006 年度	青森県教育委員会 平成 18 年度教員免許法認定講習「生徒指導」講師	(豊嶋)
2006 年度	青森県総合学校教育相談センター「こころの教育相談センター」専門相談員	(豊嶋)
2006 年度	青森県警察本部被害少年カウンセリング事業アドバイザー	(豊嶋)
2006 年度	弘前ホスピタリティ・アカデミー言語聴覚科「臨床心理学」講師	(豊嶋)
2006 年度	青森県警察本部被害少年カウンセリング事業アドバイザー	(豊嶋)
2006 年度	青森県男女共同参画センター電話相談事業スーパーバイザー	(豊嶋)
2006 年度	青森県被害者対策連絡協議会顧問	(豊嶋)
2006 年 4 月 24 日	青森県警察本部被害者対策専科教養講座 講義「カウンセリング的対応について」	(豊嶋)
2006 年 5 月 23 日	青森県自治研修所「県職員グループリーダー研修」 講義「職場のカウンセリング」	(豊嶋)
2006 年 5 月 23 日	青森産業保健推進センター 講義「管理職によるメンタルヘルス・マネジメント」	(豊嶋)
2006 年 5 月 30 日	青森県自治研修所「市町村課長補佐研修」 講義「職場のカウンセリング」	(豊嶋)
2006 年 6 月 6 日	青森県自治研修所「市町村課長補佐研修」 講義「職場のカウンセリング」	(豊嶋)
2006 年 6 月 9 日	青森県教育委員会 平成 18 年度生徒指導主任・主事研修講座 講義「少年非行の現状とその心理」	(田名場)
2006 年 6 月 24 日	三沢保育事業研究会保育士部会 講演「『気になる子どもたち』の理解と指導」	(豊嶋)
2006 年 7 月 6 日	青森県自治研修所「市町村課長補佐研修」 講義「職場のカウンセリング」	(豊嶋)
2006 年 8 月 29 日	東北電力株式会社平成 18 年度メンタルヘルスセミナー(青森管内) 講演・演習「メンタルヘルスとモチベーションの自己管理」	(豊嶋)
2006 年 8 月 30～31 日	航空自衛隊北部航空方面総監部 講義と実習指導「カウンセリング教育研修(一尉, 準尉, 曹長級 対象)」	(豊嶋)
2006 年 9 月 1 日	青森県市町村職員共済組合第 5 回メンタルヘルスセミナー 講演「ストレス時代を生きるために」	(豊嶋)
2006 年 9 月 11 日	青森市立波打中学校「家庭教育学級」 講演「思春期のお子さんとともに歩むために」	(豊嶋)
2006 年 10 月 12 日	青森県立弘前中央高校「職場体験」講師	(豊嶋)
2006 年 10 月 20 日	青森県立弘前中央高校「弘前大学 1 日体験入学」講師	(豊嶋)
2006 年 10 月 29 日	青森県教委アドバイザー等派遣事業・東津軽郡連合 PTA 研究大会 記念講演「不登校にならないための、子どもたちへの接し方」	(豊嶋)
2006 年 11 月 14 日	青森県自治研修所「カウンセリングマインド研修」 講義実習「傾聴・共感・受容と自己変革を中心に」	(豊嶋)
2006 年 11 月 16 日	青森県教委アドバイザー等派遣事業 鯉ヶ沢町立鯉ヶ沢第二中学校第 3 回生徒指導会議助言	(豊嶋)
2006 年 12 月 9 日	平成 18 年度東北電力株式会社青森支店産業医会議 話題提供「エゴグラムから見た中堅社員のメンタルヘルス」	(豊嶋)
2007 年 1 月 11 日	三戸地方教育研究所教育相談研修会 講義・演習「児童生徒理解と支援のあり方」	(豊嶋)
2007 年 1 月 24 日	三沢市メンタルヘルス・セミナー(三沢市役所係長級以上対象) 講演・実習「メンタルヘルスと自己改造」	(豊嶋)
2007 年 1 月 24 日	青森県立三沢商業高等学校 PTA 講演会 講演「人生を決める時期に、親はどう関われるか？」	(豊嶋)

2.16 その他

(1) かぜねっとプロジェクトの運用

各学校のかぜ罹患状況を把握するためのシステムを運用した。北海道・青森県・秋田県・新潟県・愛知県の計 123 の学校が登録し、利用した。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/center/kazenet/>

(2) 電子オルゴールの教材企画と開発

山形県・愛知県・兵庫県・大分県の 4 校 (小・高) でものづくり教育に活用された。また、弘前大学教育学部創立 130 周年記念行事で師範学校校歌のオルゴール 50 台を製作した。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/usr/koyama/mymelo/>

3 センターの設備・資料等の整備と利用状況

3.1 設備・資料の収集・整備

(1) センター備え付けおよび貸し出し用の教育機器を整備し、共同利用を図った。利用できる機器と利用方法については「センター利用の手引き」をご覧ください。なお、本年度は デジタル一眼レフカメラ (NikonD80AF-SDX18-70G レンズキット) を導入したのでご利用ください。

(2) 国立大学附属学校園研究紀要を整備し、閲覧に供した。

(3) 教育実習資料を整備し、閲覧に供した。

(4) ビデオ教材を整備し、閲覧に供した。1180 件のビデオが整理してあります。詳しくは「センター利用の手引き」またはホームページをご覧ください。

(2) ~ (4) は資料室で閲覧できます。センター利用の手引きは下記 URL でご覧ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/center/tebiki.pdf>

また、機器やビデオの最新情報はホームページで検索できますので、どうぞご利用ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/center/>

3.2 センターの利用状況

本年度のセンターの利用状況は次のとおりであった。

自主学習室の利用	1204 件	パソコン 1202 件, ビデオ 2 件
教材作成室の利用	89 件	AV 教材 11 件, 拡大印刷機 20 件, カラーコピー 58 件 (882 枚)
施設利用申請による利用	26 件	マイクロティーチング室 22 件, 自主学習室 4 件
物品等の貸し出し	57 件	デジタルカメラ 11 件, 液晶プロジェクタ 11 件, DV 19 件, DVD ビデオカメラ 2 件, VHS ビデオデッキ 3 件 三脚 19 件, 移動式スクリーン 6 件, ケーブル類 5 件, 他 5 件

なお, 貸し出し機器の問い合わせや予約は電子メール (kyjissen@cc.hirosaki-u.ac.jp) でも受け付けておりますので, どうぞご利用ください。

4 国内の動向: 国立大学教育実践研究関連センター協議会

2006 年 11 月 2 日, 第 69 回 国立大学教育実践研究関連センター協議会がキャンパスプラザ京都で開催された。本学からは伊藤, 吉崎が出席した。

2007 年 2 月 13 日, 第 70 回 国立大学教育実践研究関連センター協議会が東京学芸大学で開催された。本学からは小山, 田名場, 吉崎が出席, 下記の協議が行われた。

- 講演「教員免許更新制について」 鹿児島大学 狩野浩二
- 報告
 - 2007 年度アジア・太平洋教育工学東京セミナー/ワークショップについて
 - 教育臨床部門報告
 - 教育実践・教師教育部門報告
 - 教育工学・情報教育部門報告
- 会計
- ワークショップ
- 部門研究会

附属教育実践総合センター スタッフ

センター長	教授 (併任)	伊藤 成治
教務職員		吉崎 聡子
教育実践研究部門		
学校教育領域	助教授	野呂 徳治
教育情報システム領域	教授	小山 智史
教育臨床研究部門		
発達臨床・教育相談領域	教授	豊嶋 秋彦
教育社会環境領域	助教授	田名場 忍
	客員教授	渡邊 潔
地域連携事業部門		
兼任教員	助教授	中野 博之
兼任教員	教授	戸塚 学
兼任教員	助教授	児玉 忠
兼任教員	助教授	芳野 明

センターニュース No.19

発行日 2007年3月23日
編集印刷 弘前大学教育学部
附属教育実践総合センター
代表者 伊藤 成治
所在地 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
電話 0172-39-3487(事務室)
FAX 0172-39-3488
URL <http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/center/>
E-mail kyjissen@cc.hirosaki-u.ac.jp